

妊産婦についての調査(II)

— 腹帯(2) —

谷山 和美・和田みどり*・藤田 光子

Researches on Pregnant Women and Nursing Mothers (II)

— Belly-Band (2) —

Kazumi TANIYAMA, Midori WADA and Mitsuko FUJITA

緒 言

妊産婦の衣服について、その着用実態を知るため、全国7地区(1都・1道・1府・23県)において、アンケート調査(調査票I・II)を行い、腹帯着用の実態、腹帯に対する意識などについて集計整理し、まず、全国について検討、広島文化女子短期大学紀要第15号に、妊産婦についての調査(I)―腹帯(1)―を報告した。今回は各地区について検討したので、その結果を報告する。

調 査 方 法

アンケート調査の調査期、調査対象、調査依頼方法、調査地区、内容などはさきに報告した妊産婦についての調査(I)―腹帯(1)―と同じである。

結果および考察

1) 腹帯着用の実態

妊娠中の腹帯着用の実態についてみると、図1のとおりで、腹帯を着用したものは北海道の100.0%、他地区も99.6~97.9%で非常に多く、着用しなかったものはきわめて少ない。なお、着用しなかった主な理由をあげると、「必要を感じなかった」「医師の指導」「苦しい」「ずれる」などである。

2) 着帯月

(腹帯を着用した2,159例を100.0%とする)。

腹帯を着用し始めた月についてみると、図2のとおりで、3~8か月と個人差はあるが、各地区ともに5か月が非常に多い。5か月から着用し始めたものが最も多いのは関東の92.0%、次は中国の89.5%、近畿、四

国・九州、中部は88.6~84.3%、やや少ないのは東北、北海道の77.8・75.0%である。次に、3~4か月についてみると北海道10.7%、東北10.3%、中部7.0%、他地区は5.6~2.9%で少ない。このことから寒冷地ほど、着用し始める月が早い傾向であるように考えられる。

3) 着帯日

腹帯を着用し始めた日についてみると、図3のとおりで、各地区とも「戌の日」が多い。「戌の日」に着用し始めたものの最も多いのは四国・九州の80.1%、次は中国、近畿、関東、中部の77.8~70.6%、やや少ないのは北海道、東北の61.9・59.1%である。

4) 着用した腹帯の種類

着用した腹帯の種類についてみると、図4のとおりである。

「帯状腹帯のみ(以下帯状と略す)」は各地区とも多く、最も多いのは中国の68.0%、次は北海道の65.5%、関東、四国・九州、近畿、東北は57.2~50.2%、少ないのは中部の45.0%である。

「帯状が主で時々コルセット型腹帯(以下コルセット型と略す)」の多いのは近畿の17.7%、関東、中部、中国、東北、四国・九州は14.1~11.2%、少ないのは北海道の6.0%である。

「帯状が主で時々その他」は2.1%以下で非常に少ない。特に北海道、近畿は皆無である。

「コルセット型のみ」の多いのは東北の19.5%、中部、北海道は14.7・11.8%、他地区は9.8~8.1%である。

「コルセット型が主で時々帯状」は中部が12.6%、他地区は9.3~5.1%である。

* 広島女学院大学短期大学部

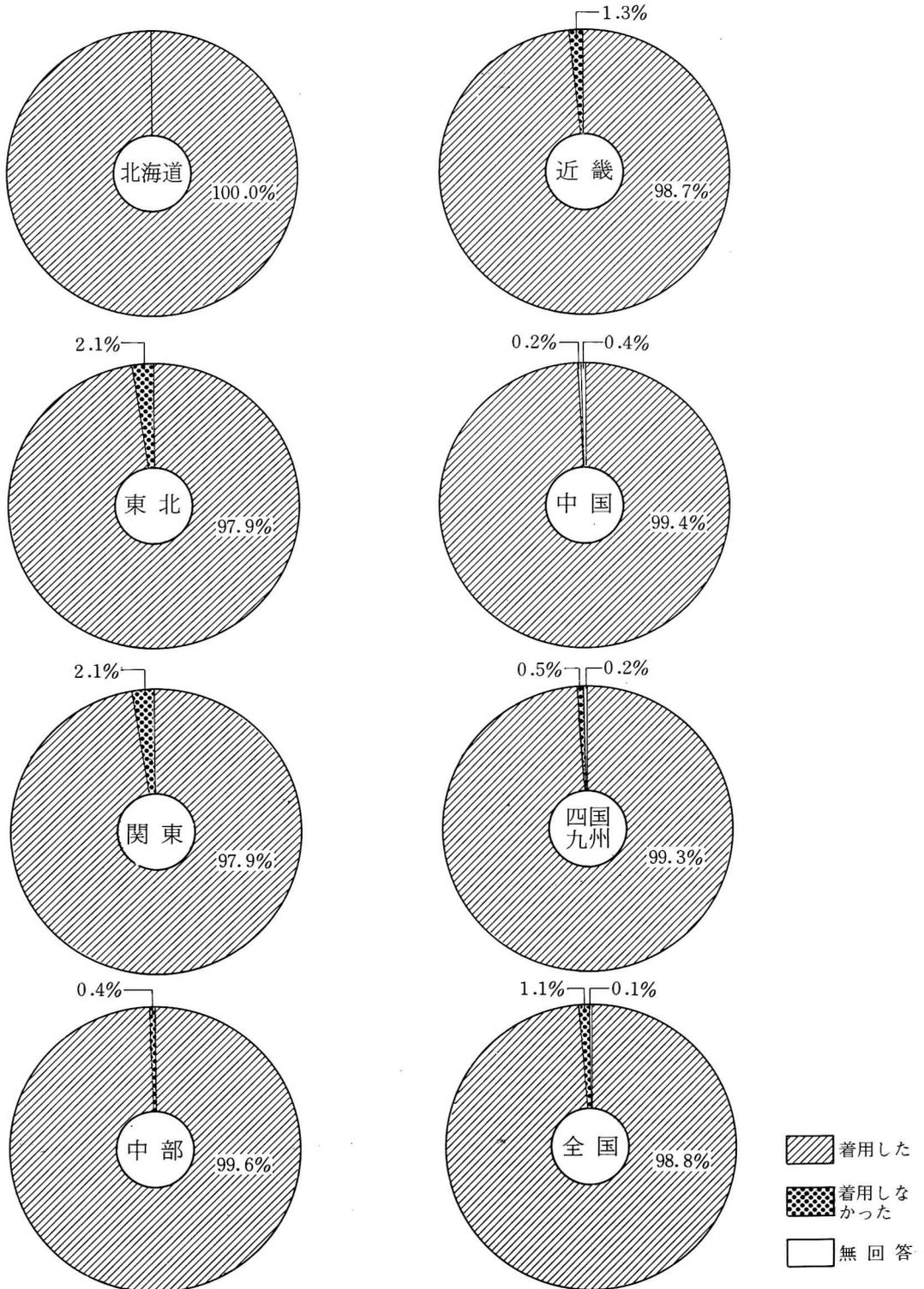


図1 腹帯着用の実態

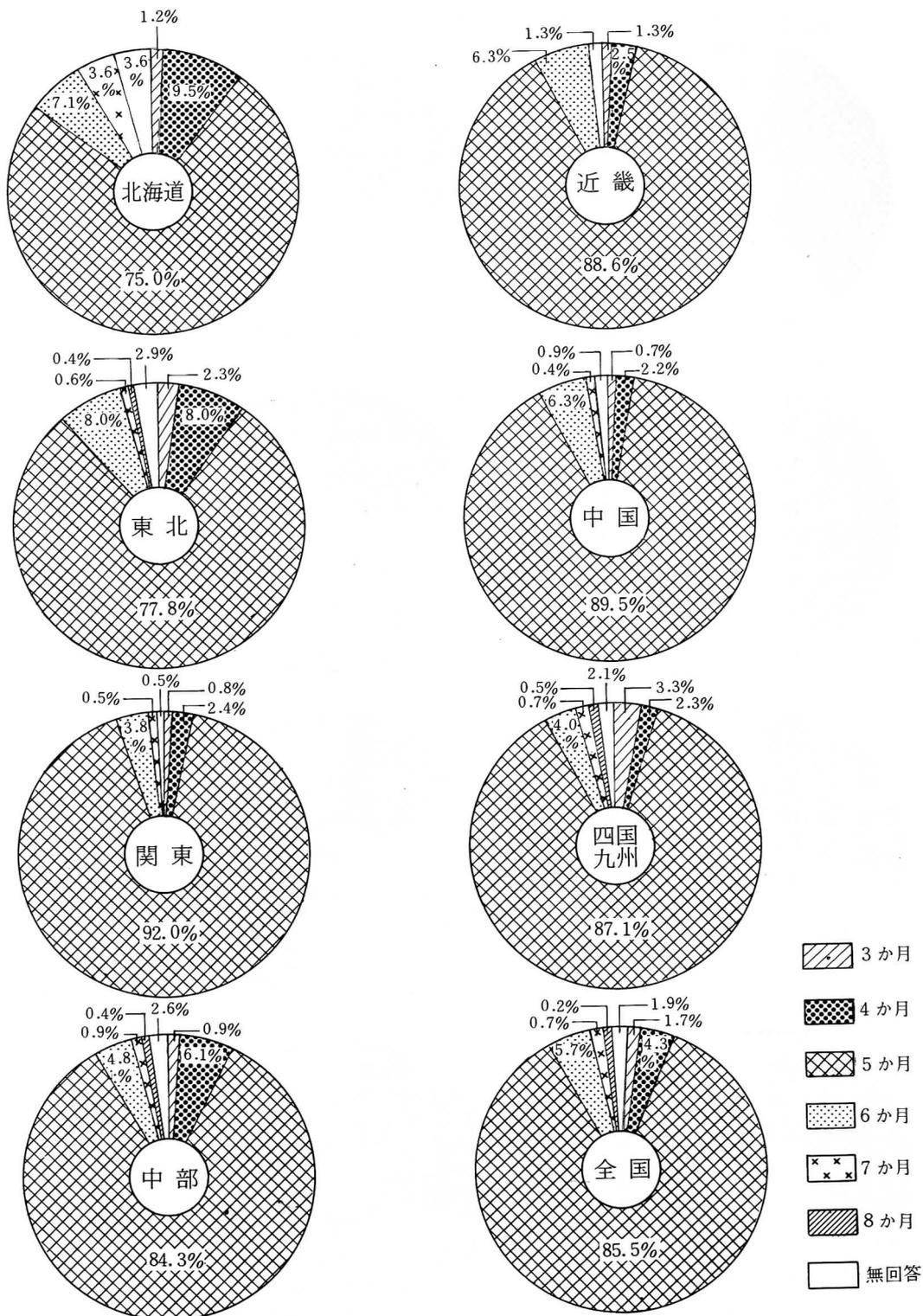


図2 着 帯 月

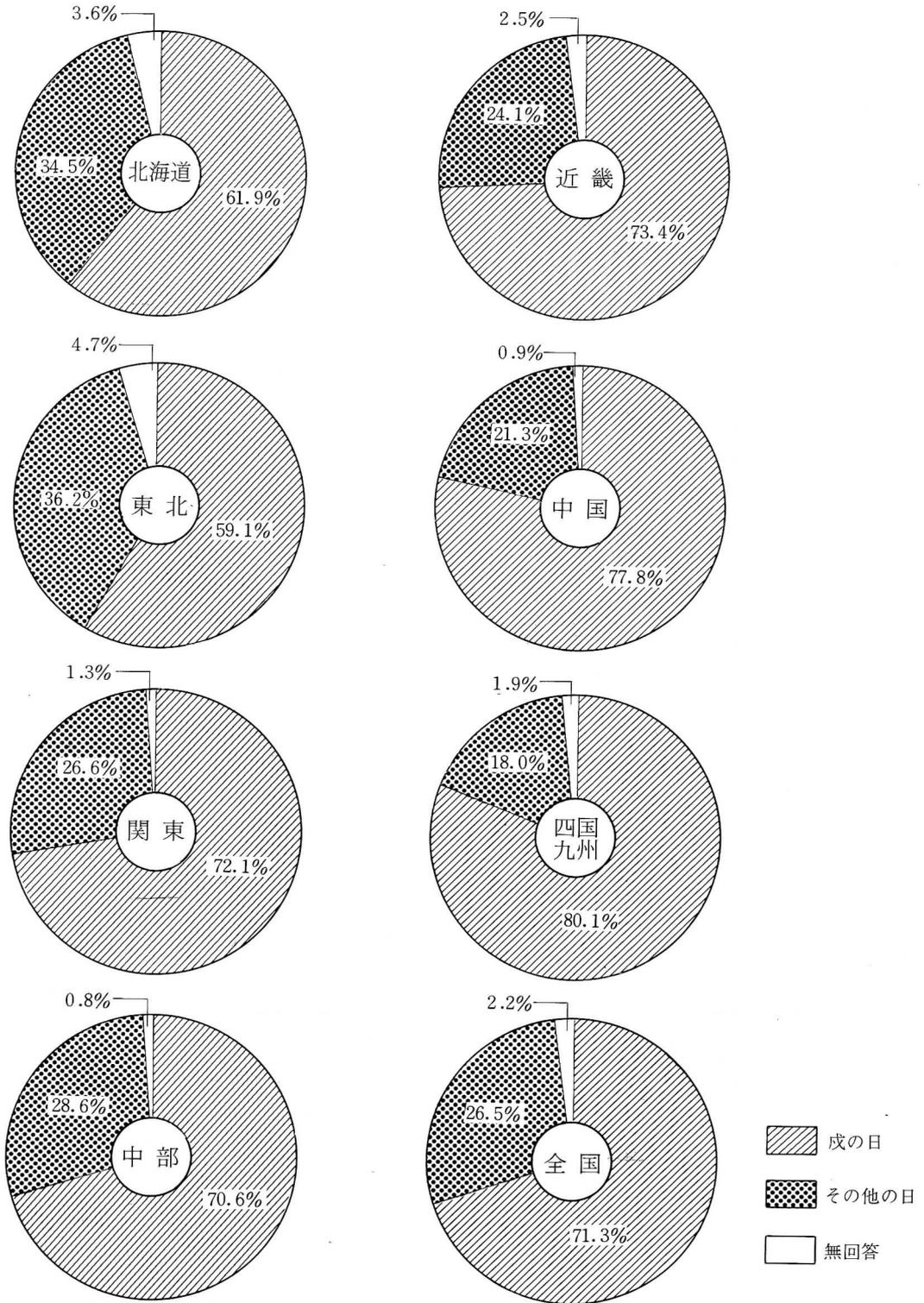


図3 着帯日

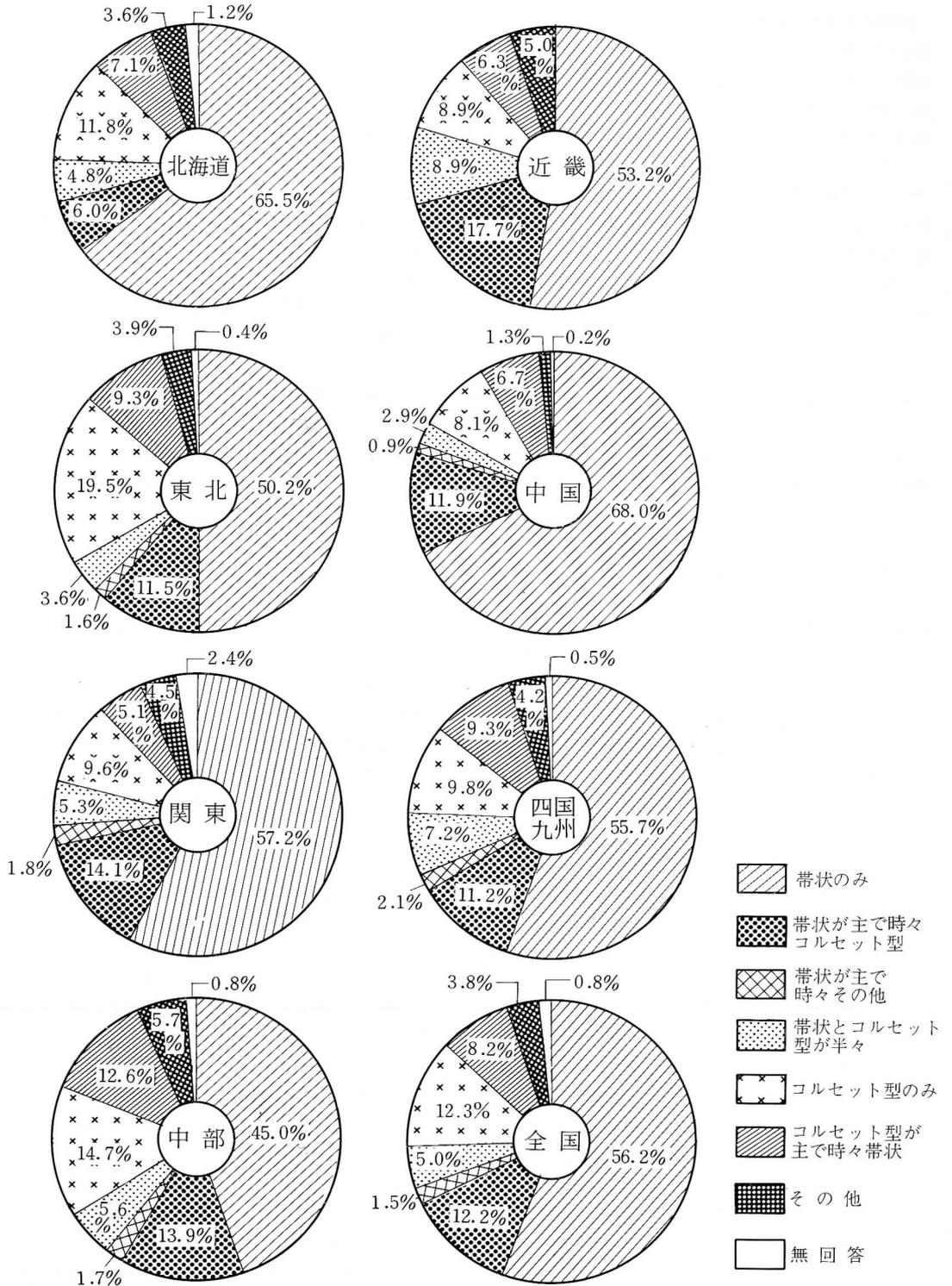


図4 着用した腹帯の種類

5) 文字・絵

腹帯に文字・絵が書いてあったものについてみると図5のとおりで、「文字」「絵」「文字と絵」のいずれかが書いてあったものの最も多いのは近畿の60.7%、関東、中国は55.9・50.7%、四国・九州、中部、東北は40.0~26.9%、少ないのは北海道の8.4%である。

「文字」の書いてあったものについてみると、最も多いのは関東の50.8%、次は中国の47.4%、近畿、四国・九州、中部、東北は40.5~23.5%、少ないのは北海道の4.8%である。

「絵」の書いてあったものについてみると、多いのは近畿の11.4%、他地区は3.5~1.9%である。

「文字と絵」の書いてあったものについてみると、多いのは近畿の8.8%、他地区は3.2%~0.8%である。

6) 文字・絵の種類

文字の種類についてみると図6のとおりで、最も多いのは「寿」で、中国81.8%、次は中部、四国・九州、関東、北海道、東北の78.5~69.6%、少ないのは近畿の59.6%である。

「戌」についてみると多いのは東北の18.8%、北海道の皆無を除いて他地区は9.9~7.0%である。

「寿と戌」についてみると多いのは近畿の5.8%、北海道、中部の皆無を除いて他地区は2.3~1.0%である。

「その他」には、「病院名」「年月日」「名前」「宗教的な文字」「祝」「吉日」「安産」などがあり、これらが単独あるいは組合わせて書いてある。そのうち、多いのは関東の「病院名」近畿の「安産」である。

絵の種類についてみると、「犬」は各地区でみられ、中国は100.0%、近畿93.0%、東北87.6%、他地区は77.0~70.0%である。

「その他」についてみると、「つる・かめ」は東北、関東、「亀」は関東、四国・九州の2地区にある。また、「松・竹・梅」は東北、「赤ちゃん」「鈴」は関東、「観音さま」は四国・九州、「紋」は中部、「つる」は近畿のみにみられ、地域差があらわれている。

7) 入手方法

腹帯の入手方法についてみると図7のとおりで、「自分で買った」が最も多いのは北海道の73.0%、次は東北の54.9%、中部、関東、四国・九州、中国は37.8~31.1%で、少ないのは近畿の23.5%である。

「実家から頂いた」についてみると、最も多いのは中国の37.8%、中部、近畿、四国・九州は36.3~35.4%、少ないのは関東、東北の22.6~14.7%である。

「婚家から頂いた」についてみると多いのは近畿、

東北、中国の6.9~6.1%で、他地区は5.4~4.2%。

「仲人から頂いた」は皆無または約1%で非常に少ない。

8) 材質

材質についてみると、「帯状」はさらし木綿、絹(白・紅)、「コルセット型」は伸縮性の木綿である。なお、白絹・紅絹などは実際には着用されていないようである。

9) 所持数

所持数についてみると図8のとおりで、「帯状2本」持っているものが最も多いのは北海道の51.7%、次は中国の47.2%、四国・九州、東北、中部は37.5~32.4%、やや少ないのは関東、近畿の29.4・25.1%である。

「帯状とコルセット型各々2枚」持っているものについてみると、多いのは四国・九州、近畿の28.7・28.3%、中部、東北、関東は26.1~20.6%、少ないのは北海道、中国の17.4・14.8%である。

「コルセット型のみ」持っているものについてみると、多いのは東北、北海道の13.1・10.4%、他地区は7.9~3.9%で少ない。

結 語

1. 腹帯着用者は各地区とも非常に多く、北海道100.0%、その他の地区も99.6~97.9%で殆んどが着用している。
2. 着帯月は3~8か月と個人差がある。しかし、各地区とも5か月が非常に多い。5か月の最も多い地区は関東の92.0%、少ない地区は北海道の75.0%である。なお、寒冷地は着用し始める月が早い傾向である。
3. 着用し始めた日は「戌の日」が最も多い。「戌の日」の最も多いのは、四国・九州の80.1%、少ないのは東北の59.1%である。
4. 着用した腹帯の種類についてみると、「帯状のみ」の多いのは中国、北海道の68.0・65.5%、「帯状が主で時々コルセット型」の多いのは近畿の17.7%である。「コルセット型のみ」の多いのは東北・中部の19.5・14.7%、「コルセット型が主で時々帯状」の多いのは中部の12.6%で、少ないのは関東の5.1%である。
5. 「文字」「絵」「文字と絵」の最も多いのは近畿の60.7%、最も少ないのは北海道の8.4%である。そのうち、「文字」は関東の50.8%が最も多く、北海道の4.8%が最も少ない。「絵」「文字と絵」とも近畿の11.4・8.8%が多い。
6. 「文字」は各地区ともあり、最も多いのは「寿」で、中国の81.8%、少ないのは近畿の59.6%である。「戌」の多いのは東北の18.8%、北海道の皆無を除いて

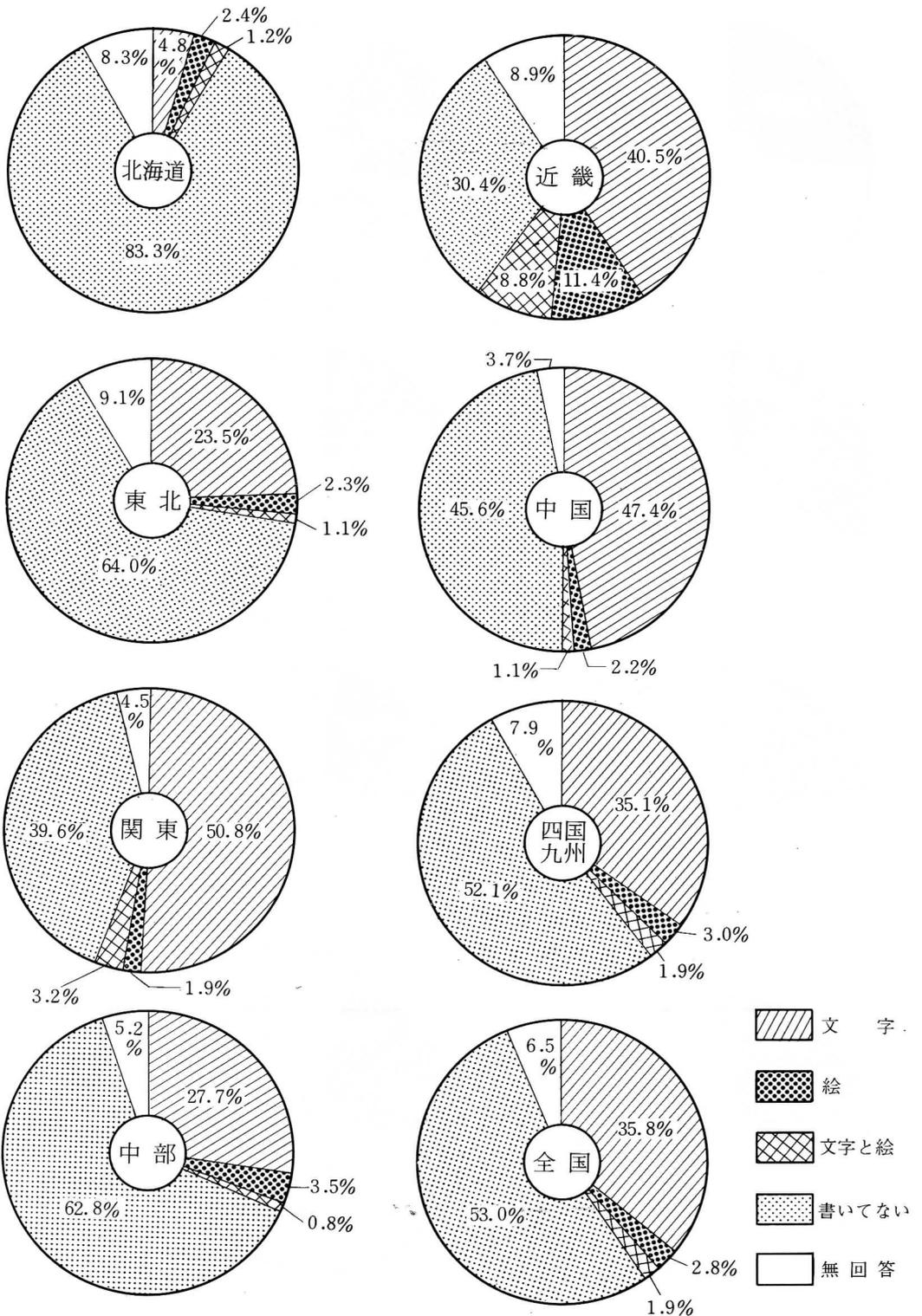


図5 文字・絵

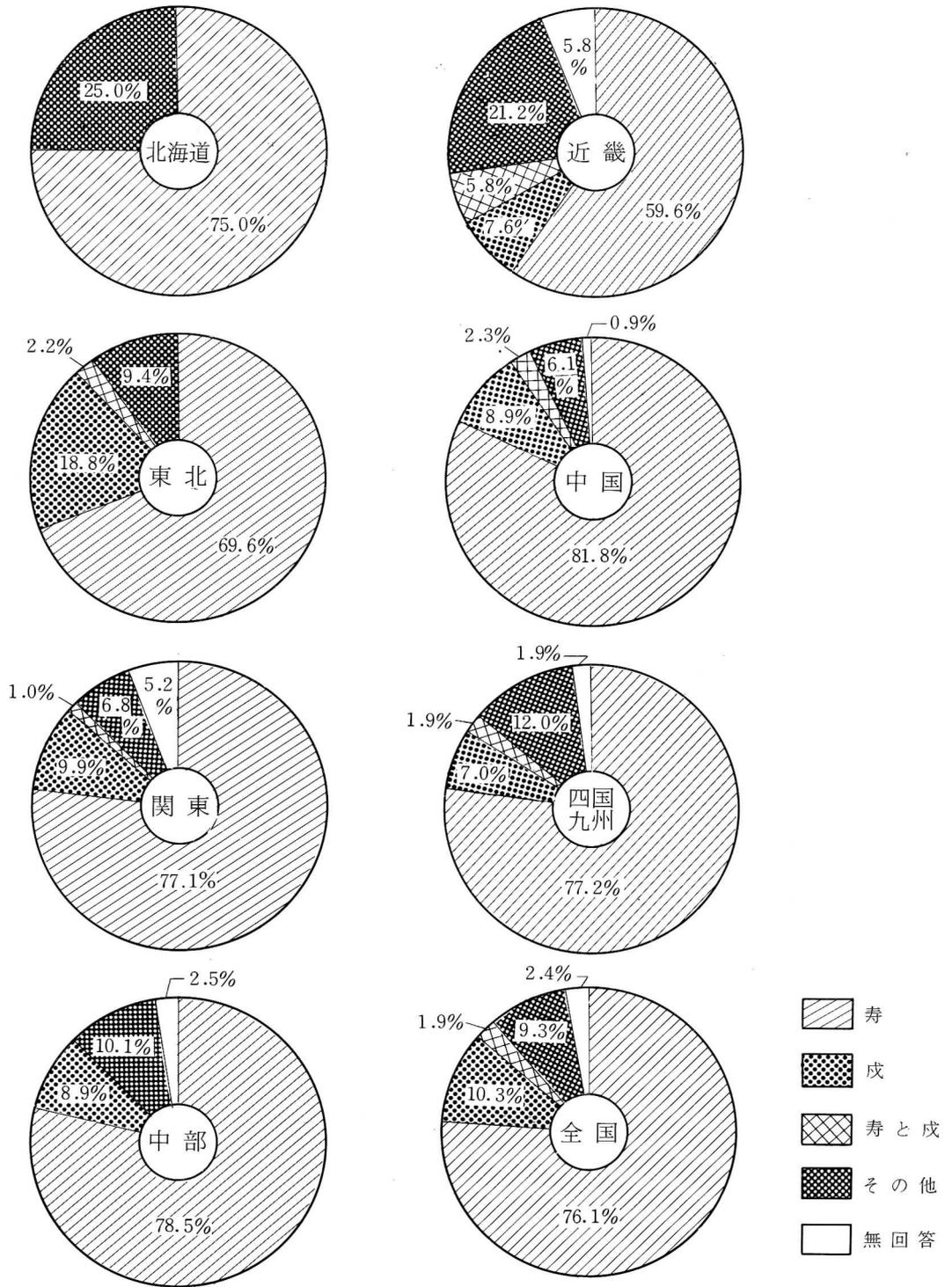


図6 文字の種類

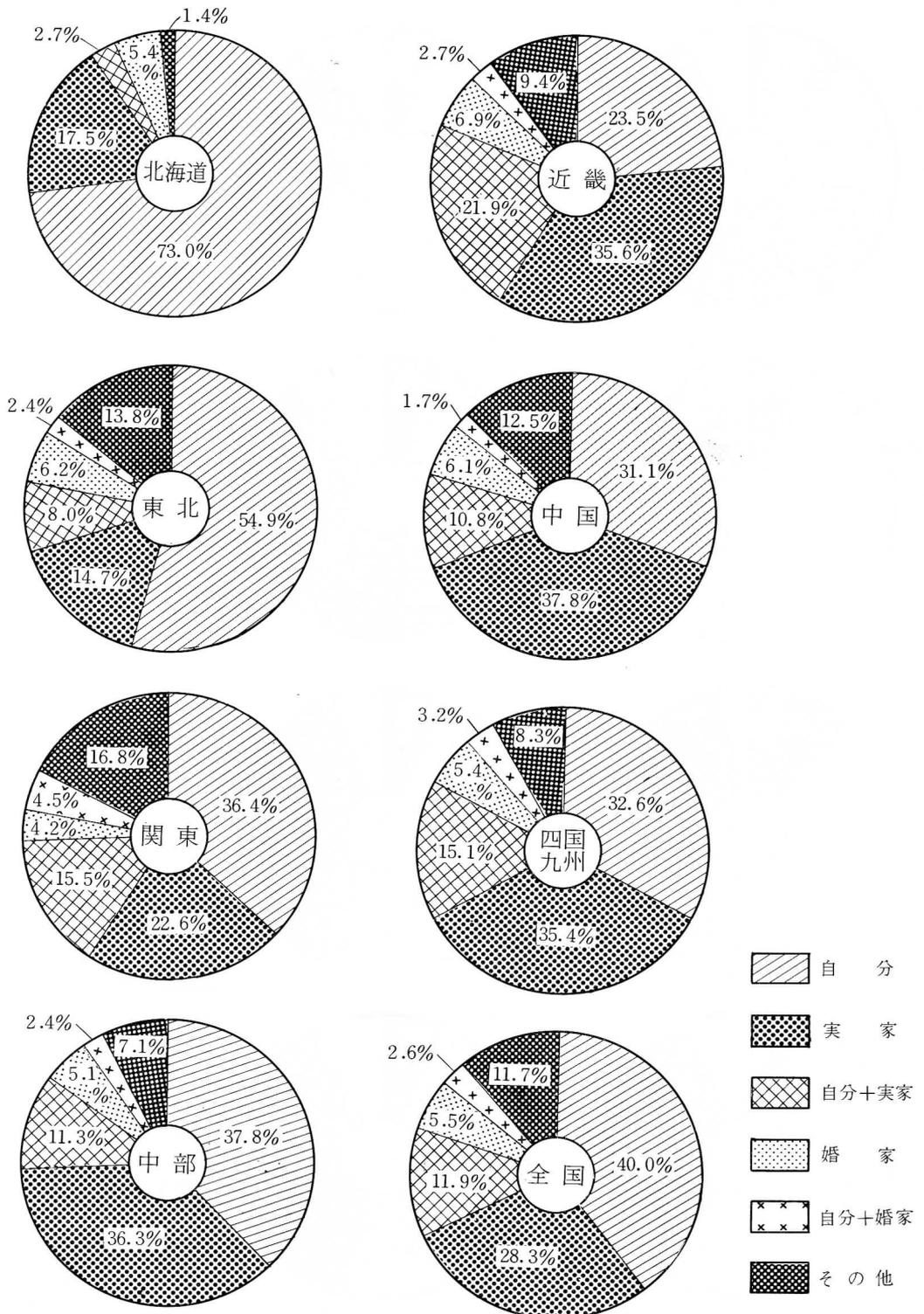


図7 入手方法

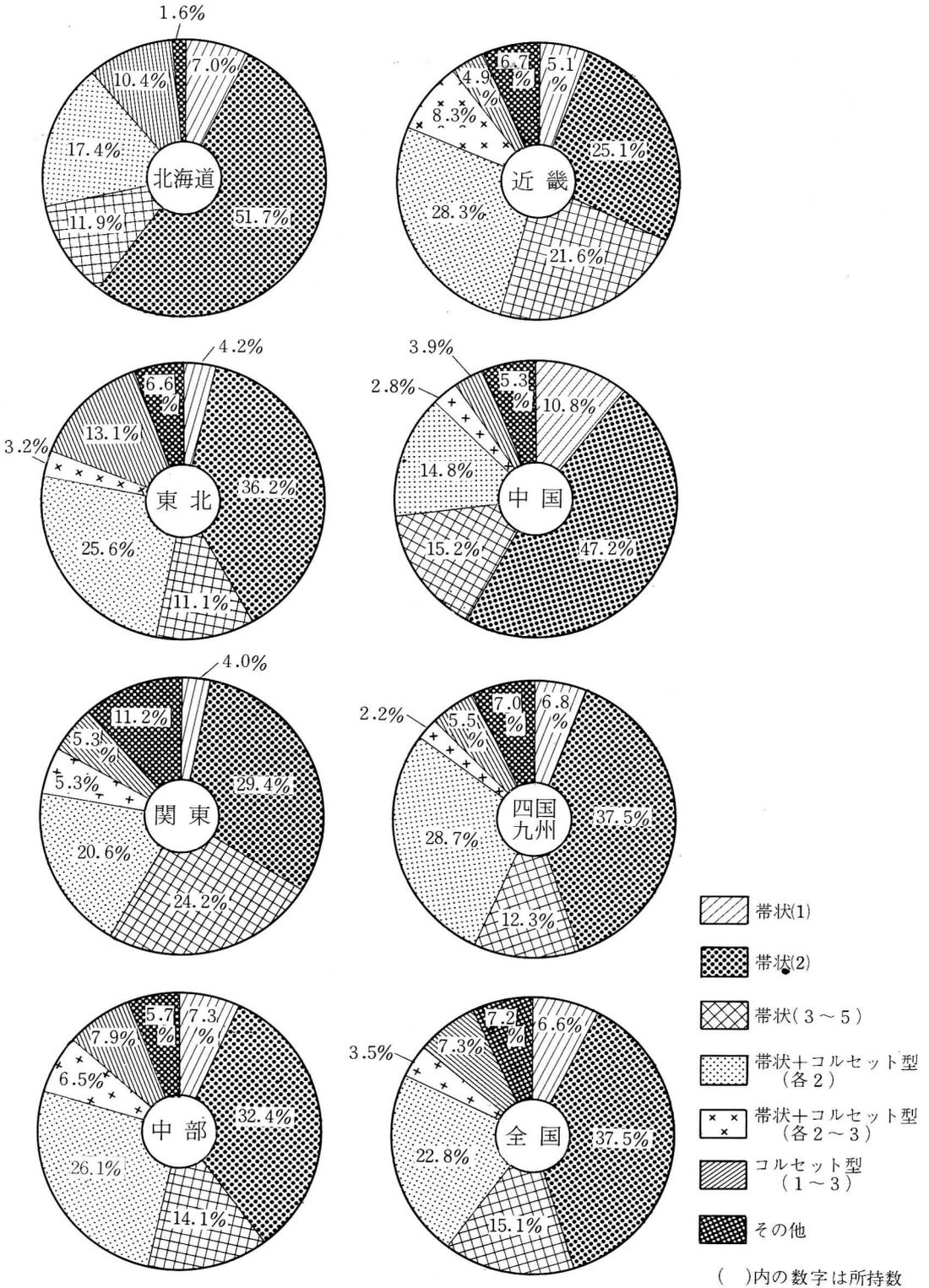


図8 所持数

て他地区は9.9～7.0%である。「その他」には、「病院名」「年月日」「名前」「宗教的な文字」「祝」「吉日」「安産」などがあり、これらが単独あるいは組合わせて書いてある。

「絵」は各地区に「犬」がみられ、中国は100.0%、他地区も70.0%以上である。「その他」は、「つる・かめ」が東北、関東、「亀」は関東、四国・九州の2地区に、「松・竹・梅」は東北、「赤ちゃん」「鈴」は関東、「観音さま」は四国・九州、「紋」は中部、「つる」は近畿のみにみられ、地域差があらわれている。

7. 入手方法は「自分が買った」が最も多いのは北海道の73.0%、少ないのは近畿の23.5%で「実家から頂いた」の多いのは中国の37.8%「婚家から頂いた」は少なく各地区とも約5%である。「仲人から頂いた」は皆無または約1%で非常に少ない。

8. 材質は「帯状」の場合はさらし木綿・白絹・紅絹、「コルセット型」は伸縮性の木綿である。

9. 所持数は「帯状」が多く73.2～51.5%で、特に多いのは中国・北海道で、「帯状2本」が最も多い。少ないのは近畿の25.1%である。「コルセット型」のみは13.1～3.9%で、多いのは東北、少ないのは中国である。

今後、引続き今回報告した以外の項目および年代別

の集計整理をし、実態を正しく把握し、これからの妊産婦の腹帯についての研究をつづけたいと思う。

終りに、このアンケート調査によく協力して下さいました各地区の保健所・大学・回答をお寄せ下さった方々、また、本研究に終始御懇切なる御助言御協力をいただきました元日本看護協会保健部会神奈川県支部長伊吹マサ子先生に深く感謝いたします。

文 献

- 1) 松山栄吉 腹帯の効用とその疑義 助産婦雑誌 1968, 22巻, 9, 40～48
- 2) 松永 勝 戌の日の腹帯 月刊ふくやま 1967, 3月号
- 3) 木下正一他 妊婦被服の周辺 母性保護医報 1971, 2月号, 6～7
- 4) 光岡栄子他 腹帯について 広島女学院大学短期大学部家政学会誌 1978, No.17, 23～26
- 5) 森末義彰・日野西資孝編 風俗辞典 東京堂出版 1960, 35
- 6) 谷山和美他 妊産婦についての調査(Ⅰ)一腹帯 (1)一広島文化女子短期大学紀要 1982, 第15号, 17～24

Summary

In order to grasp the actual conditions of clothes worn by pregnant women and nursing mothers, we made a questionnaire survey in 1976. The nation-wide tendencies of how belly-bands are worn were reported in Bulletin of the Hiroshima Bunka Women's Junior College Vol.15 (1982).

The present paper reports the results of our examination with special reference to the Seven Districts of the country.

1. Most questionees, 100.0% in Hokkaido and more than 98.0% in the other Districts, wore belly-bands in their pregnancy.
2. It was observed through all the Districts that a great majority began to wear belly-bands in the fifth month of pregnancy and that by the end of the fifth month 95.2 ~ 85.7% had begun to wear them. A tendency was seen that in the cold Districts the use of belly-bands started earlier.
3. In every District, the Day of the Dog was most preferred for the first day to wear a belly-band. This custom was seen most commonly in Shikoku and Kyushu (80.1%) and least commonly in Tohoku (59.1%).
4. As for the kinds of belly-bands, those who used only obi-type bands (long, narrow strips of cloth) were as many as 68.0% in Chugoku and 65.5% in Hokkaido, while those who mostly used obi-type bands with occasional use of corsets were 17.7% in Kinki and 6.0% in Hokkaido. "Corsets alone" was more commonly seen in Tohoku (19.5%) and Chubu (14.7%), while "corsets with occasional use of obi-type bands" was seen most commonly in Chubu (12.6%) and least commonly in Kanto (5.1%).
5. The belly-bands with words written on them were most commonly seen in Kanto (50.8%) and least commonly seen in Hokkaido (4.8%). The belly-bands with pictures or picture as well as words were most popular in Kinki (20.2%).

6. 「寿」 (congratulations) was the commonest word (81.8%). Some other words such as 「戌」 (dog), 「安産」 (easy delivery), hospital names and dates were also used.

The pictures of dogs were seen in every District. The rest were baby, bell, crane and tortoise and Kannon (Buddhist Goddess of Mercy).

7. As for the ways of obtaining the belly-bands, those who bought the belly-bands by themselves were 73.0% in Hokkaido and 23.5% in Kinki.

Those who were given as gifts by their parents were 37.8% in Chugoku.

The cases where the belly-bands were given by their husband's parents or by the go-betweens were very few.

8. The materials of obi-type bands were bleached cotton, white or red silk. The corsets were made of expandable cotton cloth. The belly-bands made of white or red silk were not actually used.
9. An examination into the number of belly-bands possessed by the questionees showed that, in Hokkaido, 51.7% had two obi-type bands and in Kinki, 25.1%. Those who had two sets of obi-type bands and corsets were 28.7% in Shikoku and Kyushu and 28.3% in Kinki.